

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】令和1年7月4日(2019.7.4)

【公表番号】特表2018-520517(P2018-520517A)

【公表日】平成30年7月26日(2018.7.26)

【年通号数】公開・登録公報2018-028

【出願番号】特願2017-566357(P2017-566357)

【国際特許分類】

H 01 L 25/07 (2006.01)

H 01 L 25/18 (2006.01)

H 01 R 13/24 (2006.01)

【F I】

H 01 L 25/04 C

H 01 R 13/24

【手続補正書】

【提出日】令和1年5月29日(2019.5.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 9】

パワー半導体モジュールにおける、ばね要素によって接続されなければならないそれぞれのコンタクトの第1コンタクト領域と第2コンタクト領域とを電気的に接続するために第1部品が設けられるように、第1コンタクト部分は、第2コンタクト部分の反対側に位置することが好ましい。これは、第1部品が第1コンタクト部分と第2コンタクト部分との間、すなわち、ばね要素が作用状態である場合の第1コンタクト領域と第2コンタクト領域との間に導電性経路を備えるので、特に可能である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 8 0】

さらに、コンタクト部分26、28および押付け部分20、22の両方は、実質的に橜円形状を有し、互いに触れ合ってその橜円形状を続けていることが好ましいことがわかる。橜円形状は、ばね力F Sに対して実質的に垂直である橜円形状のまっすぐな部分を形成するコンタクト16、18と、まっすぐな部分に続いて、すなわち、まっすぐな部分に隣接して設けられる2つの半円形部分17、19とを含む。橜円形状は、変形部分24に向かう方向に、それぞれ開口部21、23によって開口しており、第2部品14がその開口部を通って続く。